

注意

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

商品の特徴

この時計は、文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるアナログソーラーパワーウォッチです。

ご使用になる前に

十分に光を当てて充電してからご使用ください。

この時計には、電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。この二次電池は、水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。一度フル充電すると約1.7ヶ月間は充電しなくても時計は動き続けます。

〈ソーラーパワーウォッチの上手な使い方〉
快適にこの時計をご使用いただくためには、常に余裕をもって充電することを心がけてください。この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません。(過充電防止機能付き)
毎日の充電を心がけてご使用されることをおすすめいたします。

時刻合わせ・カレンダー合わせ

*りゅうずがネジロック式の場合は、ネジをゆるめてから操作をし、合わせ終わりましたらきちんと締めておいてください。

1. 日付のないモデル

通常位置
時刻合わせ
りゅうず
ソーラーセル

〈時刻合わせ〉
1. 秒針が0秒位置で停止するようりゅうずを引き出します。
2. りゅうずを回して時刻合わせをします。
3. 時報(TEL117)等に合わせてりゅうずをきちんと通常位置に戻します。

2. 日付のあるモデル

A:通常位置
B:日付け合わせ
りゅうず
C:時刻合わせ
ソーラーセル

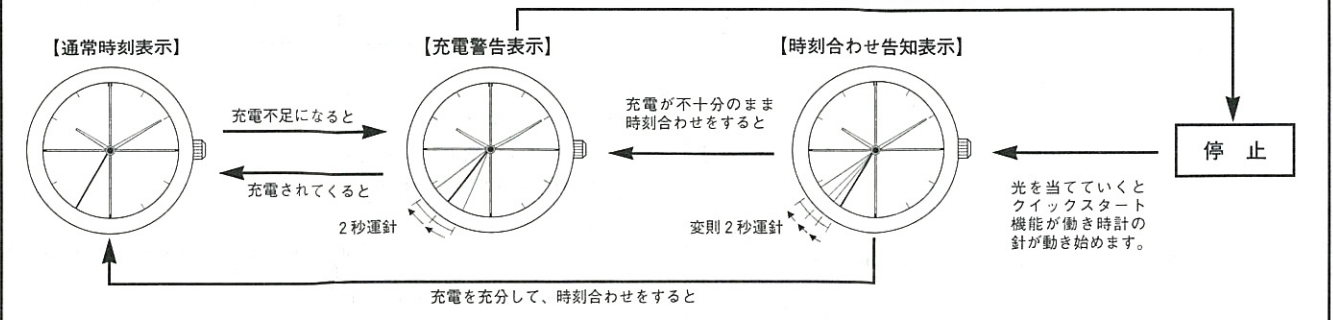
〈時刻合わせ〉
1. 秒針が0秒位置で停止するようりゅうずを2段引き位置(C)にします。
2. りゅうずを回して時刻合わせをします。
3. 時報(TEL117)等に合わせてりゅうずをきちんと通常位置(A)に戻します。

〈日付け合わせ〉
1. りゅうずを1段引き位置(B)にします。
2. りゅうずを回して合わせたい日付けに合わせます。
3. りゅうず通常位置(A)に戻します。

※時計が午後9時～午前1時の間を示している時に日付の修正を行うと翌日になって日付が切り替わらないことがあります。

ソーラーパワーウォッチ特有の機能について

この時計は、充電不足になると以下のような警告機能が働いて表示が切り替わります。



充電警告機能 秒針が2秒遅針して充電不足を知らせます。このときも時計は正確に動いていますが、2秒遅針を始めてから約1日経過すると時計は停止してしまいます。光を当てて充電し、もとの1秒遅針に戻してください。

時刻合わせ告知機能 クイックスタート機能が働くと、時計の針は動き出しますが、時刻が狂っているため、秒針が変則2秒遅針して時刻が狂っていることを知らせます。このような場合は、十分に充電して時刻を合わせ直してください。時刻合わせ操作をしないと変則2秒遅針が続きます。

クイックスタート機能 充電が全くされていないと時計は停止してしまいます。光を当てると、約10秒で時計の針が動き始めます。(モデルや光の明るさによって、針が動き出すまでの時間は異なります。)但し、この時に光をさえぎりますと充電が十分でないため、時計は再び停止してしまいますので注意してください。

過充電防止機能 二次電池がフル充電されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きますので安心して充電ができます。

ソーラーパワーウォッチ充電時間の見方

時計のモデル(文字板の色など)によっては充電時間が異なります。あくまでも目安としてご利用ください。

照度 (ルクス)	環境	充電時間		
		止まってから1秒遅針までの充電時間	1日分の充電時間	フル充電時間
500	屋内照明	約10時間	約2時間	約180時間
1,000	蛍光灯(30W)の下60~70cm	約5時間	約1時間	約90時間
3,000	蛍光灯(30W)の下20cm	約2時間	約20分	約30時間
10,000	曇天	約20分	約6分	約9時間
100,000	夏の日の直射日光下	約6分	約3分	約4時間

フル充電時間………時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間。
1日分の充電時間………時計を1秒遅針で1日動かすのに必要な時間。

ソーラーパワーウォッチ取り扱い上の注意

〈時計は常に充電を心掛けてお使いください〉
・日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため充電不足になりやすいのでご注意ください。
・時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

注意 充電上の注意

・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので、高温下(約60℃以上)での充電は避けてください。
例)白熱等、ハロゲンランプなど、高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。
車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。

二次電池の交換について
この時計に使われている二次電池は、充電、放電を繰り返し行なえるため、一般の電池のように定期的な電池交換の必要はありません。

警告 二次電池の取り扱いについて

・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
・やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
・万一、二次電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談して治療を受けてください。

警告 指定の電池以外は使わないでください

この時計に使われている二次電池以外の電池は絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池などの他の種類の電池を使い万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は必ず指定の二次電池をご使用ください。

このような場合には

〈秒針が2秒遅針しているとき〉
充電警告機能が働いています。このような場合は、早めに十分充電して1秒遅針状態でご利用ください。

〈秒針が変則2秒遅針しているとき〉
時刻合わせ告知機能が働いています。十分に充電して、正しい時刻に合わせ直してください。

製品仕様

- 型式 ……アナログソーラーパワーウォッチ
 - 水晶振動数 ……32,768Hz(Hz=1秒間の振動数)
 - 時間精度 ……平均月差±20秒(常温+5℃/41°F→+35℃/95°F携帯時)
 - 作動温度範囲 ……-10℃→+60℃(14°F→140°F)
 - 付加機能 ……充電警告機能
クイックスタート機能
時刻合わせ告知機能
過充電防止機能
 - 使用二次電池 ……二次電池 1個
- *仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

お取り扱いにあたって

警告 防水性能について

・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
・日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキндаイビング)などには使用できません。
・日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

防水性について
・時計の文字板及び裏ふたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。

表示		仕様
文字板	ケース	
無表示	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水
WATER RESIST 5bar または無表示	WATER RESIST (ANT)	5気圧防水
WATER RESIST 10/20bar または無表示	WATER RESIST (ANT)	10気圧防水 20気圧防水

使用例

使用例	水のかかる程度の使用。(洗顔、雨等)	水仕事や、一般水泳	スキндаイビング、マリンスポーツに使用。	空気ポンプを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でりゅうずの操作。
	○	×	×	×	×
	○	○	×	×	×
	○	○	○	×	×

注意

・りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
・水分のついたままりゅうずの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド(金属製またはゴム製)にお取り替えの上、ご使用ください。
・日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
・万一、時計内部に水が入ったり、又、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、シチズンサービスセンターへ修理、点検を依頼してください。

注意 携帯時の注意

・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。

注意 バンドのお取り扱いについて

・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

注意 時計は常に清潔に

・ケースとりゅうずの間にゴミや汚れが付着したまま放置しておく、りゅうずが引き出しにくくなる場合があります。時々はりゅうず通常位置のままでりゅうずを空回りさせてゴミ、汚れを落としてください。
・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にご使用ください。

・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。
かぶれの原因は
1. 金属、皮革アレルギー
2. 時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

〈時計のお手入れ方法〉
・ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
・皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。
・プラスチック/ゴムバンドは水で汚れを洗い落とすしてください。
*溶剤類(シンナー、ベンジンなど)の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

注意 夜光について

・自発光塗料を使用している時計の場合は、その夜光塗料に使用されている放射線物質は法定で許容される範囲内であり、しかもガラスで保護されているので問題ありません。しかしガラスが割れた場合には、夜光に手で触れたりせず、ただちに買い上げの時計店、又は当社サービスセンターへお持ちください。なお、自発光塗料を使用している時計は、文字板面にP-Japan-Pと印刷されています。

温度について
・-10℃→+60℃から外れた温度下では機能が低下したり、停止することがあります。

保証とアフターサービスについて

1. 保証について
保証期間中に、取扱説明書にそったご使用状態で、万一故障が生じた時には、保証書に従い、無料修理いたします。

2. 修理用部品の保有期間について
当社は時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・バンド・針・りゅうずなどの外装部品については、外觀の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3. 修理可能期間について
当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

4. 転居・ご贈答品の場合
保証期間中に転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、お近くの当社サービスセンターにご相談ください。

5. 定期点検について
・安全に永くご使用いただくために、2~3年に一度の定期点検を行ってください。
・防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキンやパネ棒等の交換を行ってください。
・部品交換の際は、純正品品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検、又は修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金等、詳しくはお買い上げ店、又はシチズンサービスセンターにご相談ください。

6. その他お問い合わせについて
保証や修理、その他不明の点がございましたら、お買い上げ店又は、シチズンサービスセンターにご相談ください。

保証について
保証期間中に、取扱説明書にそったご使用状態で、万一故障が生じた時には、保証書に従い、無料修理いたします。

修理用部品の保有期間について
当社は時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・バンド・針・りゅうずなどの外装部品については、外觀の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

修理可能期間について
当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

転居・ご贈答品の場合
保証期間中に転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、お近くの当社サービスセンターにご相談ください。

定期点検について
・安全に永くご使用いただくために、2~3年に一度の定期点検を行ってください。
・防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキンやパネ棒等の交換を行ってください。
・部品交換の際は、純正品品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検、又は修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金等、詳しくはお買い上げ店、又はシチズンサービスセンターにご相談ください。

その他お問い合わせについて
保証や修理、その他不明の点がございましたら、お買い上げ店又は、シチズンサービスセンターにご相談ください。

磁気について
・磁石には近づけないでください。
磁気健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア・バックの止め具など、磁気に近づけると時刻が狂います。この場合は磁気から離して時刻修正を直してください。

静電気について
・クオーツウォッチに使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。テレビ画面などの強い静電気を受けると表示が狂うことがありますのでご注意ください。

ショックについて
・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

化学薬品・ガス・水銀について
・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。
シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。又、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

保管について
・長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。